

## 第 7 回「大学病院産婦人科勤務医の待遇改善策の現況に関するアンケート調査」 集計結果

1. 産婦人科の夜間・休日体制について : 旧国立大学病院を中心に交代勤務制導入への模索が続いている。平成 24 年度には MFICU における交替勤務制が 2 旧国立大学病院で実施されているのみであったが、この 2 施設に加えて、5 大学病院で交代勤務制が導入されている。勤務実態としては、当直制と大きく変わらないという見方もあり、当直料が支払われない分、処遇が悪化しているという意見もあるが、一つの方向性が示されつつあると考えられる。それ以外、5 施設で宅直制をとっている施設がある。それ以外は宿直制となっている。
2. 当直翌日の勤務緩和について :

	2008	2009	2010	2011	2012	2013
なし	65	57	69	64	83	80
あり	14	18	17	16	16	24
検討中	5	10	7	4	10	7

- 当直翌日の勤務緩和について、その導入への努力が行われてきているが、業務量と比較して人員が十分でないため、導入しても続けられない施設もあり、これまでは実施施設数は横ばい状態となっていた。しかし、2013 年度については実施施設が微増していると考えられ、当直翌日の勤務緩和を行うという全体の方向性は、より明確になってきていると考えられた。
- ただし、実施施設でも、当事者が実際に退勤できているかどうかは、必ずしも明らかになっていない。

### 3. 分娩あたりの手当について

		2008	2009	2010	2011	2012	2013
国立大学病院	なし	24	16	13	10	12	12
	検討中	6	6	2	0	2	1
	あり	8	18	26	27	29	29
公立大学病院	なし	3	5	2	3	2	2
	検討中	0	0	0	0	0	0
	あり	3	3	6	6	7	7
私立大学病院 本院	なし	19	15	14	8	17	16
	検討中	5	4	1	0	0	0
	あり	3	7	12	13	13	14
私立大学病院 分院	なし	13	9	15	10	19	17
	検討中	3	2	0	0	0	0
	あり		4	4	8	9	11
合計	なし	59	45	44	31	50	47
	検討中	14	12	4	0	2	1
	あり	14	32	48	54	58	61

- 分娩手当の支給は大学病院の本院で 2008 年 14 施設、2009 年 28 施設、2010 年 44 施設、2011 年 46 施設、2012 年 48 施設、2013 年 49 施設と近年は微増傾向を示している。2014 年度以降、地域医療再生基金による補助金がなくなった場合に継続できなくなる施設が出てくる可能性がある。
- 支給を時間外分娩に限定している場合とすべての分娩を対象としている場合がある。

### 4. 当直時間帯の診療に対する付加的な報酬について

- 今回、各病院の日直・当直料およびオンコール手当の有無についての設問を加えた。初回ということで、回答施設は限定されるが、日直料は 59 施設から回答があり、15607±6186 円、当直料は 61 施設から回答があり 14897±6094 円だった。オンコール手当については、回答 76 施設中 29 施設でありという回答だった。

	4.当直時間帯の診療に対する付加的な報酬について									
	(ア)時間外勤務手当の支給について				(イ)時間外手術に対する手当について			(ウ)緊急入院・搬送対応に対する手当について		
	なし	一部支給	完全支給	その他	なし	あり	検討中	なし	あり	検討中
国立大学病院	6	20	13	3	16	24	1	32	7	2
公立大学病院	2	4	3	0	7	2	0	7	2	0
私立大学病院本院	12	13	2	1	17	13	0	25	3	0
私立大学病院分院	12	13	2	1	17	10	0	22	5	0
合計	32	50	20	5	57	49	1	86	17	2

- 本調査は、病院の経営側に対する調査ではなく、現場の勤務医の立場で、時間外診療への処遇について回答を求めているので、病院側とは認識にずれが存在する可能性がある。また、大学病院については、「教育職」として時間外勤務を算定しないという考え方があるのかもしれない。これまでの同様、今回の調査でも、時間外勤務手当の「完全支給」は20%に満たない、という結果となった。その一方、適正な処遇を求める現場の声を反映して、診療行為に対する「手当」、特に分娩と手術を対象とした「手当」を支給する大学病院が徐々に増加しつつある。
- 2013年度の調査結果は、これまでの調査結果と大きな変化は認められていない。この領域については、さらにそれぞれの施設で病院管理者との交渉が必要と考えられる。

## 5. 女性医師の継続的就労支援のための対策について

	(ア)短時間正規雇用制の導入			(イ)産休・育休からの復帰支援策		
	なし	あり	検討中	なし	あり	検討中
国立大学病院	18	23	1	9	32	1
公立大学病院	5	3	1	1	7	1
私立大学病院本院	11	19	0	9	18	2
私立大学病院分院	17	12	2	16	13	1

- 女性医師の継続就労支援のための対策は多くの大学病院で実施されつつあるが、分院では対応が遅れがちになっている可能性がある。

## 6. ハイリスク分娩管理加算・妊娠管理加算の現場への直接的還元について

	6. ハイリスク分娩管理加算・妊娠管理加算の現場への直接的還元について					
	なし		あり		検討中	
	2012	2013	2012	2013	2012	2013
国立大学病院	27	29	5	5	1	1
公立大学病院	6	5	0	1	0	1
私立大学病院本院	22	20	0	4	0	0
私立大学病院分院	16	22	1	1	0	0
合計	71	76	6	11	1	2

- 2012年度からの設問だが、2012年度に還元ありが6施設、7.7%であったのに対し、2013年度は11施設、12.4%となった。率は低いものの徐々に増加しつつある。各大学での努力の成果が実を結びつつあると評価できる。

施設名	3. 分娩当たりの手当について				4. 当直時間帯の診療に対する付加的な報酬について																		
					(ア) 日当直手当		(イ) オンコール手当		(ウ) 時間外勤務手当の支給について				(エ) 時間外手術に対する手当について				(オ) 緊急入院・搬送対応の手当について						
	なし	あり	検討中		日直(休日 日勤)	当直	なし	あり		なし	一部支 給	完全支 給	その他		なし	あり	検討中		なし	あり	検討中		
国立大学本院																							
a	1						1					1	H25.7まで、現 在は夜勤のため なし		1			他科と同額 当直医には手当なし、時 間外手当と同様	1				当直医には手当 なし、時間外手 当と同様
b		1		時間内・外関係なく帝 王切開2万円(何人でも)、 分娩1万円1~2人	26000	26000	1					1						帝王切開のみ分娩手当金 (他は時間外手当)	1				
c	1						1					1	裁量労働制の導 入に伴い、時間 外諸手当は初任 給調整手当とし て支給されるこ とになった。し かし、初任給調 整手当のうち 何%が時間外手 当に相当するか などの取り決め はなく(法律違 反)、時間外労 働に対し正当な 対価は支払われ ていない		1				1				
d		1		経産1件1万円、帝王切 開1件3万円	20000	20000	1					1	月30時間まで支 給(それ以上は 不可)			1		帝王切開3万円、新生児 科と麻酔科もあり			1		現在、申請中だ が支給予定なし
e		1		時間外のみ1件1マン、 立会医師は小児科、麻 酔科を含め全員	20000	20000		1					自己申告、規定 による		1		1	担当でない医師が来た時 は(ウ)に連動して支給	1			1	
f		1		・分娩取り扱い1件に 対し、2万円が支給さ れる。 ・産科医師可き保支援 事業の対象である。	10000	10000		1	待機を命じされ た場合6000円、 その者が呼び出 され対応した場 合5000円を支給			1	超過勤務手当は 出していない が、診療従事教 員等特別手当を 役職ごとに支給 しており、仮に 超過勤務した場 合は手当の中に 含まれるとみな される			1		産婦人科の場合勤務時間 外に対応した手術の保険 点数の10分の1の金額を 担当した医師の人数に応 じて、手当として支給し ている。また勤務時間内 であっても保険点数が 35000点を超えるものに 関しては、その点数の10 分の1を同様に支給して いる(条件を満たせば他 診療科も同様の手当てが 支給される)。			1		時間外に救急、 分娩、手術等で 関わった場合、 1患者につき出 勤手当(5000 円)を定額で支 給している
g		1		1件1万円、 対象となっている	30000	30000	1								1						1		

施設名	3. 分娩当たりの手当について				4. 当直時間帯の診療に対する付加的な報酬について																		
					(ア) 日当直手当		(イ) オンコール手当			(ウ) 時間外勤務手当の支給について				(エ) 時間外手術に対する手当について				(オ) 緊急入院・搬送対応の手当について					
	なし	あり	検討中		日直(休日 日勤)	当直	なし	あり		なし	一部支 給	完全支 給	その他	なし	あり	検討中		なし	あり	検討中			
h		1		1件当たり2万円	20000	20000	1			1					1								自宅待機者に対して1件1万円支給。当直者には手当なし
i			1	通常の分娩においては担当医に1回1万円、帝王切開では2名まで1回1万円が支給される制度が検討中。						1			現在、教授を含めて5名のスタッフ(教授1、準教授1、講師2、助教1)で分娩数600名(帝切率約40%)1か月入院患者150名を担当している。スタッフの充実が望まれているが、当大学を希望する医師が少ないのが現状。	1								左記と同様にオンコールの教官が診療・手術に病院へ来た際には、当直日誌に自一至の時間を記入することで当直相当額が支払われる(全診療科共通であり、産婦人科が特別に配慮されることはない)。	
j		1		超過勤務としてつけている						1					1								手術として特別に支給されていない。通常の時間外手当
k	1				20000	20000	1			1			助教以上は緊急コール手当1万円/日		1								時間外手術のために院外より呼び出しを受けた場合に限り、1万円/日支給(前記緊急コール手当の内容に含まれる、産婦人科に限らない)
l		1		6000円/件1人のみ						1				1									
m	1			変化なし	20000	20000	1		変化なし				変化なし		1								平成25年7月より全科対象。20:00~翌8:00までに麻酔開始→1~2時間1万円、2時間~2万円。もしくは10時間以上の手術(全時間帯)→2万円
n		1		時間外(1人当たり)分娩1件1万円、対象外	15000	15000	1			1			緊急手術1件5000円。処置IVF-ET等		1								1件5000円

施設名	3. 分娩当たりの手当について				4. 当直時間帯の診療に対する付加的な報酬について																		
					(ア) 日当直手当		(イ) オンコール手当			(ウ) 時間外勤務手当の支給について				(エ) 時間外手術に対する手当について				(オ) 緊急入院・搬送対応の手当について					
	なし	あり	検討中		日直(休日 日勤)	当直	なし	あり		なし	一部支給	完全支給	その他		なし	あり	検討中		なし	あり	検討中		
o		1		分娩を取り扱った医師・助産師の数により、以下の金額を支給する。1人10000円、2人5000円、3人3300円、4人2500円、5人2000円、6人以上1600円	18700	18700		1	MFICUはオンコール手当5000円+救急勤務医手当3700円		1			教員：当直手当には4時間分の超過勤務手当及び緊急診療手当が含まれているため、4時間を超えた分について支給。平日22時から翌朝5時までまたは休日の診療については、緊急診療手当(4時間まで5000円、4時間以上10000円)を支給。非常勤職員：本人の申請に基づき支給		1			超過勤務手当で対応	1			超過勤務手当で対応
p		1		約5000円/1件。産科医師確保支援事業の対象ではない								1		1500円/時間		1			一度以前に送ったものと同じ 全科対象。5000円/1件		1		1500円/時間
q	1											1		宅直医は呼び出しに対して宅直料(当直医の半額)から当直料と同額への増額。非宅直医は時間外勤務料金		1			全科対象。時間外手当として		1		
r	1				16000	16000		1	基本部分5000円支給。実働部分-超過勤務手当支給		1			裁量労働制		1			深夜帯(22:00~5:00)、休日の手術手当、分娩手当は超過勤務手当として支給		1		
s		1		7,000円/件でその分娩に立ち会えば人数制限なし、「産科医師確保支援事業1」の対象								1		宿直1万円、業務があれば+1万円		1					1		
t		1		分娩1件8000円(帝王切開、時間外も同額)、人数上限なし	10000	10000円		1				1		診療関連のみ対象		1					1		

施設名	3. 分娩当たりの手当について				4. 当直時間帯の診療に対する付加的報酬について																			
					(ア) 日当直手当		(イ) オンコール手当			(ウ) 時間外勤務手当の支給について				(エ) 時間外手術に対する手当について				(オ) 緊急入院・搬送対応の手当について						
	なし	あり	検討中		日直(休日 日勤)	当直	なし	あり		なし	一部支 給	完全支 給	その他		なし	あり	検討中		なし	あり	検討中			
u		1		24時間1件当たり2万円。分娩1件に対する人数の上限なし→変化なし。但し事業費獲得により分娩指導手当が当たりに加わった(別紙細則を参照)							1			当直医=当直料2万円、分娩手当2万円、分娩指導手当2万円、搬送受入対応2万円、ハイリスク加算例ではさらに2万円。日当直医も		1			時間外手術(緊急)2万円		1			母体搬送を対応した場合1件2万円。1件当たりの人数の上限なし→変化なし。但し搬送(当院から他院に〇した際は手当あり。(別紙細則を参照))
v	1				15000	15000	1					1		超過勤務手当として支給。上限有		1			超過勤務手当として支給。上限有	1				時間外のみ、時間外勤務として
w	1				15000	15000	1				1			当直中の時間外手当なし、上限あり	1					1				
x	1			他科とのバランス、他科との総合依存等を考え当院では主張していない	20000	20000	1				1	1		ただし、労使協定により上限750時間/年まで	1					1				左同、呼出し手当1回3000円、全員対象
y		1		時間外分娩につき1分娩につき分娩に関与した産婦人科医、小児科医に2万円支給							1			支給されるが月あたりの申請でする労働時間数が制限されるため、実際一部支給となっている	1					1				
z	1				12000	12000		1	別紙「鳥取大学における待機に関する規定」及び「鳥取大学給与細則34」参照		1			患者の診療に関する者は支給する。別紙「超過勤務・休日勤務に関する労使協定書」参照		1			(ウ)に含む。対象は産婦人科のみではない		1			別紙「鳥取大学給与細則34」参照。対象は産婦人科のみではない
AA		1		1件1万円(1人のみ)	5000	10000	1				1				1					1				
AB		1		1件1万円(1人のみ)	14000	14000	1					1				1					1			
AC		1		時間外のみ2万円/件	20000	20000	1				1				1				時間外手当として当直医以外が支給される	1				
AD		1		1万円/1件(1名の医師のみ)対象となっている	14000	14000			1のため一般病棟の医師は自宅にいても管理当直となっているので14000円が支給されている(実際に2名の当直は無理なため)秘		1				1				全科に対して2800~3600円/時間(金額ではない。時間限度あり)	1				

施設名	3. 分娩当たりの手当について				4. 当直時間帯の診療に対する付加的な報酬について																		
					(ア) 日当直手当		(イ) オンコール手当			(ウ) 時間外勤務手当の支給について				(エ) 時間外手術に対する手当について				(オ) 緊急入院・搬送対応の手当について					
	なし	あり	検討中		日直(休日 日勤)	当直	なし	あり		なし	一部支 給	完全支 給	その他		なし	あり	検討中		なし	あり	検討中		
AE		1		事業対象 1件1万円 時間外の場合(17:30- 8:00)2万円加算							1			重症で手伝うと、 婦人科3名まで、 麻酔科1名まで、 小児科1名まで帝 王切開と同額支 給される。		1			帝王切開時産婦人科医3 名まで新生児科医1名、 麻酔科医1名に1万円支 給。17:30~8:30	1			
AF		1		1分娩1名のみ2万円(1 件)	15000	15000		1	オンコールのみ 3千円				1	45時間まで	1					1			
AG		1						1			1					1				1			
AH		1		産婦人科又は小児科勤 務する大学教員・医 員・医員(大学院 生)・医員(研究生) が付属病院において、 分娩業務に従事した時 に支給する。手当の額 は1回の分娩業務につ き5000円とする 支援事業対象外	11000	11000		1	7000円/回		1			前回と同様	1					1			
AI	1							1	2~3回/月のオン コールに対して6時間分のみ 支給されている。		1				1					1			
AJ		1		当直帯、日勤帯、帝王 切開(予定、緊急関わ ず)での1分娩につき2 万円(初期研修医は1 万円)/人(1分娩産婦 人科スタッフ2名ま で、初期研修医1名ま で)。 支援事業かどうかは不 明	20000	20000	1		副直が初期研修 医のときは、後 期研修医もしくは は医員がオン コールとなっ ている。緊急手術 などの呼出し時 には、時間外手 当を請求してお り、オンコール 手当は存在しな い。	1				本当直医の診療 行為には、分娩 手当や手術手当 はつくが時間外 勤務手当はつか ない。		1			手術時間が2時間を超え ると、医師一人当たり2 万円(初期研修医1万 円)の支給が、科を問わ ず付与される。但し、帝 王切開を除く(帝王切開 は分娩での手当でがつく ため)。	1			
AK		1		1分娩につき12000円。 対象となっている	20000	20000	1				1			1時間以上で 1日7800円上限					全科対象緊急手術に対し 15600円(何回手術して も1回のみ)	1			

施設名	3. 分娩当たりの手当について				4. 当直時間帯の診療に対する付加的な報酬について																			
					(ア) 日当直手当		(イ) オンコール手当			(ウ) 時間外勤務手当の支給について				(エ) 時間外手術に対する手当について				(オ) 緊急入院・搬送対応の手当について						
	なし	あり	検討中		日直(休日 日勤)	当直	なし	あり		なし	一部支 給	完全支 給	その他		なし	あり	検討中		なし	あり	検討中			
AL		1		昨年と同じ。時間外の 分娩を扱った全ての産 婦人科、小児科医師に 対して上限人数を設け ず1人当たり2万円を支 給する。	20000	20000	1							昨年と同じ。時 間外の入院・搬 送・分娩・産科 手術を扱った全 ての産婦人科、 小児科医師に対 して人数に上限 を設けず、1人 当たり2万円を 支給する。		1			(ウ)と同じ		1			(ウ)と同じ
AM		1		分娩1件あたり5000 円、経産分娩2名、帝 王切開3名まで(準教 授、教授を除く)			1				1				1					1				
AN	1			産科医師確保支援事業 対象ではない	20000	20000		1	全科一律に呼び 出された時に手 術1万円、それ 以外5千円		1			全科一律に呼び 出された時に手 術1万円、それ 以外5千円		1			全科一律に呼び出された 時に手術1万円、それ以 外5千円		1			
AO		1		時間外のみ	15000	15000	1					1				1				1				
AP		1		時間外のみ、分娩1件 につき立会医全員に1 人2万円			1					1				1			全科共通		1			

施設名	3. 分娩当たりの手当について				4. 当直時間帯の診療に対する付加的な報酬について																				
					(ア) 日当直手当		(イ) オンコール手当		(ウ) 時間外勤務手当の支給について				(エ) 時間外手術に対する手当について				(オ) 緊急入院・搬送対応の手当について								
	なし	あり	検討中		日直(休日 日勤)	当直	なし	あり		なし	一部支 給	完全支 給	その他		なし	あり	検討中		なし	あり	検討中				
公立大学本院																									
AQ	1				20000	20000	1		時間外手当として支給			1							1						
AR		1			36000	36000	1				1								1						
AS		1		分娩1件につき担当医へ1万円。産科医師確保支援事業の対象になっている。分娩時にコールされた新生児科医へも1件1万円支給							1			時間外30時間までは手当あり、30時間以上はつかない				1				1			
AT		1		約1万円/分娩1件	15000	15000	1			1								1				1			
AU		1		1万円/1件を担当した医師・助産師で分割。約2000円。事業の対象となっている。	2000	2000	1				1			20時間まで時間外勤務手当を認めている。手術・処置などを行った患者に直に対しての時間のみ。指示なしなどの事務的業務は認められていない。時間当たり2000～3000円				1			時間手当に、20時間以内時間2000～3000円時間外勤務の中に含まれる。1時間3000円くらい。全科が対象。	1			
AV	1				30000	30000	1		呼び出された場合はあり		1			大学院生、研究医、病院講師には支給				1			全院内であり	1			全院内であり
AW		1		分娩に関与した場合、7500円/日支払われる。但し何件取り扱っても7500円/日、日数制限なし。		7500	1		2名当直医がいるが、1名分だけ7500円/当直の付加報酬あり。若い医師の方に自動的に算定するようにしている	1								1				1			救急搬送を受けた場合、当直当たり7500円の付加報酬があり
AX		1		1件1万円	20000	20000						1		完全支給だが月の上限あり				1				1			
AY		1		10000円、支援事業の対象								1						1				1			

施設名	3. 分娩当たりの手当について				4. 当直時間帯の診療に対する付加的な報酬について																				
					(ア) 日当直手当		(イ) オンコール手当		(ウ) 時間外勤務手当の支給について				(エ) 時間外手術に対する手当について				(オ) 緊急入院・搬送対応の手当について								
	なし	あり	検討中		日直(休日 日勤)	当直	なし	あり		なし	一部支 給	完全支 給	その他		なし	あり	検討中		なし	あり	検討中				
私立大学本院																									
AZ		1		8000円/件	12500	12500								時間外勤務に対し正規職員には「特別診療手当」が2000円/1時間支給される。研修医は1900円/1時間、全科対象	1					1			母体搬送の場合 コーディネーターに4000円/日		
BA		1		前回調査と同じ。栃木県からのハイリスク分娩介助手当(帝切、吸引・鉗子、骨盤位分娩に対して1件1万円)										1						1					
BB	1				20000	20000								診療のみ5000円、手術は5000~10000円	1					1			2時間未満は5000円、2時間以上の手術(非専門医7500円)、(専門医10000円) 全科対象		
BC	1			分娩当たりの手当ではないが、当直料に2万円/回の上乗せがされ、合計3万円/回となっている。	10000	10000	1							1						1					
BD		1		変化なし			1							変化なし	1				1				変化なし		
BE	1				15000	12000	1							入院1名につき2000円	1					1					
BF	1					15000		1						4時間以上=15000円。 4時間未満=10000円	1					1					
BG	1				10600±12300	10600±12300		1						臨時当直手当として支給10600円	1					1			5000円、全科に適用されている。16時以降の緊急入院で手術となった場合に限り	1	当直帯で診療対応があると4400円加算。 全科適用あり
BH	1				10000	10000	1													1					
BI	1				10000	10000									1					1					
BJ	1														1					1					
BK	1				13000	12000	1								1					1			20時以降の手術に対して医師に対して5000円/医師1人支給される。これは中央手術部における外科全般に適用されている。	1	

施設名	3. 分鏡当たりの手当について				4. 当直時間帯の診療に対する付加的な報酬について																			
					(ア) 日当直手当		(イ) オンコール手当			(ウ) 時間外勤務手当の支給について				(エ) 時間外手術に対する手当について				(オ) 緊急入院・搬送対応の手当について						
	なし	あり	検討中		日直(休日 日勤)	当直	なし	あり		なし	一部支給	完全支給	その他		なし	あり	検討中		なし	あり	検討中			
BL	1									1			特殊病棟手当という名目。搬送調整手当により当直料に1万円が加算		1			変化なし		1			変化なし	
BM	1				17390	10500	1			1			全科で当直時にERの要請によるERで診療した場合に限り、7千円が支払われることになった(25.9~)		1					1				
BN	1									1			補助金による充当		1						1			
BO	1				13500	9500	1			1			当直中の救急外来での診療時間が対象			1		当直医は時間外手当はなし。オンコールはあり(全科)。手術手当は全科ともあり(当直医もオンコールも)		1				
BP	1							1		1						1				1				
BQ		1		時間外のみ1件一人5000円(関与したすべての医師)	18000	18000		1	呼ばれなくても3000円	1						1		1件一人5000円から10000円(手術に入った医師すべてを対象)		1				
BR	1									1			4時間以上の時間外勤務max1万円/日、4時間未満の時間外勤務max5000円/日、月5回を支給限度とする。			1				1				
BS		1		1件あたり1万円	15000	15000	1			1						1				1				
BT		1		8:45~17:10=3000円、17:00~8:45=5000円、最大2名まで。支援事業の対象ではない	12000	12000		1	緊急呼び出し手当1回4000円+交通費			1	周術期管理手当:1ヶ月の超過勤務時間に応じた手当を支給。→20時間以上で20000円~80000円→外科全般に設定			1		(ウ)に含まれている		1				
BU		1		1分鏡7000円(一人のみ)c/s等2人以上でも一人のみ			1			1						1								

施設名	3. 分娩当たりの手当について				4. 当直時間帯の診療に対する付加的な報酬について																		
					(ア) 日当直手当		(イ) オンコール手当			(ウ) 時間外勤務手当の支給について				(エ) 時間外手術に対する手当について				(オ) 緊急入院・搬送対応の手当について					
	なし	あり	検討中		日直(休日 日勤)	当直	なし	あり		なし	一部支給	完全支給	その他		なし	あり	検討中		なし	あり	検討中		
BV		1		1分娩につき1人当たり 2万円で、2人まで						1					1				1				
BW		1		時間外分娩1件につき 主治医1万円、指導医 5000円。 対象ではない	20000			1	1回3000円		1			・管理職以外は 可能(部・科長 以外)、講師、 準教授には別途 手当支給あり。 ・全勤務者に一 律月2万円加 算。		1			全科対象。 7:00PM以降5000円		1		診察1件につき 1000円。入院1 件につき1000 円。 全科対象
BX		1		月～土(22:00～翌 5:00)、日・祝日 (5:00～翌5:00)に 分娩業務を行った場合 1回2000円を支給	11000	11000	1				1					1			緊急呼び出し手当-1件 につき15000円支給。但 し対象時間は月～土22: 00～5:00、日・祝日5: 00～翌5:00	1			
BY		1		1分娩2万円(時間外の み)										変化なし	1				帝王切開は左記分娩手当 に含まれる。それ以外は なし	1			変化なし
BZ		1		時間外のみ1件5000円	5000	5000		1	1回1000円(第 2)。第1は 10000円		1					1			1件5000円	1			
CA	1				10000		1					1			1					1			
CB		1		時間外のみ、1件につき 助教以上:7000円、助 手:5000円(ただし1日1 回の算定。当直者も同 じ)							1			時間外まで引き 続き実働3時間以 上勤務したとき、 助教以上に1回あ たり5000円を支 給。ただし原則と して1日1回。緊急 呼び出しの場合、 3時間以上の実 績があった際には、 助手を除き、 時間が超勤手当 を5000円支給す る。		1		分娩・手術に対して助教以 上:7000円、助手:5000円	1				
CC		1		例8000円(1分娩につ き産科医2名、ハイリ スク分娩(産科医2 名、新生児科医1名) 計3名。帝王切開(産 科医3名、新生児科医2 名)計5名まで	14000	14000		1	拘束手当として 5000円					1回出勤につき 2200円		1			1例8000円(当日の宿日 直者を除く)	1			

施設名	3. 分娩当たりの手当について												4. 当直時間帯の診療に対する付加的な報酬について											
					(ア) 日当直手当		(イ) オンコール手当		(ウ) 時間外勤務手当の支給について				(エ) 時間外手術に対する手当について				(オ) 緊急入院・搬送対応の手当について							
	なし	あり	検討中		日直(休日 日勤)	当直	なし	あり		なし	一部支 給	完全支 給	その他		なし	あり	検討中		なし	あり	検討中			
私立大学分院																								
CD	1									1														
CE	1				24000	12000		1	平日、休日8000 円、 土日曜日10000 円		1			当直者が申請す ると時間外勤務 者に手当が支給 される		1					1			
CF	1			母体救命コントロール 事業に対して1症例に1 万円県から支払われる					分娩手当、時間 外も含め年間 4120万円が医局 員への付加的な 手当として支払 われる。医局員 の数によるが毎 年平均60~70万 円が個人に支払 われている。		1			基本なし。但し状 況により多少考 慮していただける		1				基本なし。但し状況により 多少考慮していただける		1	前述と同様	
CG	1										1					1					病院全体として手術(時 間外)1件に対して5000 円の補助を支出	1		
CH				分娩なし		10000	1				1					1						1		
CI		1		病院の取支に応じて支 払うということで詳細 不明							1			時給500円		1						1		
CJ	1						1				1					1					全科1人1日あたり5000円	1		
CK		1		分娩1件につき2000円			1				1			当直医以外の時 間外勤務に対 し、3250円/2時 間		1				2000円全科共通	1			
CL	1				12000	12000		1	2時間まで4000 円、4時間まで 8000円、8時間 以上12000円		1										当直者にはなし、オン コール(宅直)にはオン コール手当が時間外医 に応じて出ます。(イ)に記 載。	1		
CM	1							1			1					1						1		

施設名	3. 分娩当りの手当について				4. 当直時間帯の診療に対する付加的な報酬について																			
					(ア) 日当直手当		(イ) オンコール手当			(ウ) 時間外勤務手当の支給について				(エ) 時間外手術に対する手当について				(オ) 緊急入院・搬送対応の手当について						
	なし	あり	検討中		日直(休日 日勤)	当直	なし	あり		なし	一部支 給	完全支 給	その他		なし	あり	検討中		なし	あり	検討中			
CN	1				12300	10600	1			1			救外患者の診 療、入院患者急 変による緊急手 術の場合、宿 直・日直手当の 他に4400円を当 直時外来等診療 手当として支給 される。 救外患者が入院 後手術に至った 場合、1件につ き5000円支給さ れる。		1			前項に記載済み。産婦人 科だけではない		1			前項に記載す み。産婦人科だ けではない	
CO	1									1					1					1				産婦人科のみ： 母体搬送受入時 に（搬送受入加 算からの医師へ の還元として） 受入初療医師1 名に1万円であ て（1搬送には1 名のみ）
CP		1		17時～9時（平日） 祝・休日の分娩1件当 たり1万円。 支援事業による。			1			1			1件当たり1万円		1			全科						（ウ）参照
CQ	1				11300	11300		1		1					1									
CR	1				10600	9600		1	当直扱いとして 支給 当直料と同額	1			法人に要求する も、単一診療科 の優遇は困難と 回答されている		1					1				
CS		1		8000円	8000	8000	1			1					1					1				
CT		1					1				1					1					1			
CU	1														1						1			
CV	1					10000		1	オンコール日に 呼ばれた場合に コストが付く		1		時間外4時間以 上の実働で1万 円あり		1					1				
CW	1				13000	18000		1				1			1					1				

施設名	3. 分娩当たりの手当について				4. 当直時間帯の診療に対する付加的な報酬について																		
					(ア) 日当直手当		(イ) オンコール手当			(ウ) 時間外勤務手当の支給について				(エ) 時間外手術に対する手当について				(オ) 緊急入院・搬送対応の手当について					
	なし	あり	検討中		日直(休日 日勤)	当直	なし	あり		なし	一部支 給	完全支 給	その他		なし	あり	検討中		なし	あり	検討中		
CX		1		5000円/泊(何件分娩があっても1件のみ)		10000		1	当直扱い							1			分娩と手術ともに同じで1当直につき1件のみ手当がつく		1		
CY	1				10500	10500		1	3500円	1										1			
CZ		1		全くなし	10000	10000		1	2500円、 呼ばれたら2000 円			1				1				1			
DA				分娩は平成医22年4月より休止						1						1				1			
DB	1												1	当直時間帯に超過勤務をした場合、1時間当たり1500円の手当あり		1				1			
DC	1										1					1				1			
DD		1		時間外5000円(時間内3000円)				1		1				オンコールで呼出し時のみ手当あり 4000円+交通費		1			帝王切開のみ(5000円)、産婦人科のみ対象	1			
DE		1		5000円、時間外のみ	11000	11000		1	5000円、呼び出され診療した場合+5000円		1			分娩に対してのみ手当あり		1				1			
DF		1										1		1000円/人		1			全科対象。立場により異なるが1万円~6000円程度		1		全科対象1000円
DG		1		1件2万円。但し20:00~5:00の間の分娩に限る							1			宅直で時間外勤務した場合は当直手当(1万円)にする(宅直手当は3000円)当直日の時間外勤務手当なし		1			1件15000円の手当あり。		1		宅直時に対応した場合は3000円~1万円に増額する。当直時は当直手当(1万円)以外の手当なし
DH	1							1	平日1回1000円、土曜1500円、日曜祝日2000円		1			呼出し1回につき5000円/1日3回まで		1				1			